

子どもの予防接種について

～子どもの健康を守るために、
予防接種を受けましょう～

・生後2か月から、B型肝炎・ロタウイルス・五種混合・小児用肺炎球菌ワクチン等の接種を始めましょう。
・定期予防接種以外の予防接種（接種費用は保護者負担）については、かかりつけの医師と相談して接種してください。

（注）「6日以上の間隔」…1週間後の同じ曜日から接種が可能です。
「27日以上の間隔」…4週間後の同じ曜日から接種が可能です。



定期予防接種 スケジュール



接種種類	接種対象	接種スケジュール	個人通知など	場所	費用	
RSウイルス (母子免疫ワクチン)	妊娠28週0日～36週6日までの人	妊娠ごとに1回	妊娠届出時に 予診票をお渡し します	県内委託医療機関 (県外で接種される場合は、 事前にご連絡ください。)	無 料	
B型肝炎	1歳未満 標準的には、 生後2か月～9か月未満	27日以上の間隔で2回、1回目から139日以上 の間隔で1回。計3回	出生届出後に「予診票」 をお送りします。 (予診票がない場合はご 連絡ください。)			
ロタ ウイルス 感染症	ロタ リックス 出生6週0日後 ～24週0日後	初回接種を出生14週6日 までに完了させることが 推奨されています。 原則、同一ワクチンで接種 してください。				27日以上の間隔で2回
	ロタ テック 出生6週0日後 ～32週0日後	27日以上の間隔で3回				
小児の 肺炎球菌感染症	生後2か月 ～5歳未満	接種開始が生後2か月～ 7か月未満				27日以上の間隔で3回、3回目から60日以上 の間隔かつ1歳以上(標準的には1歳から 1歳3か月の間)で1回。ただし3回目は12 か月未満で接種。計4回
		接種開始が生後7か月～ 1歳未満				27日以上の間隔で2回、2回目から60日以上 の間隔かつ1歳以上で1回。ただし2回目は 24か月未満で接種。計3回。
		接種開始が1歳 接種開始が2歳～5歳未満				60日以上の間隔で2回。計2回 1回
五種混合 (DPT-IPV -Hib)	第1期 初回 第1期 追加 生後2か月 ～7歳6か月 未満	標準的には生後2か月～ 12か月未満				20日以上(標準的には20～56日まで)の間隔 で3回
		初回(3回)終了後、6か月以上(標準的には 3回目終了後6～18か月)で1回				
BCG	1歳未満 標準的には生後5か月～ 8か月未満	ツベルクリン反応検査を行わずに接種(2か所)				1回
麻しん・ 風しん混合 (MR)	第1期 1歳	1回				1回
	第2期 小学校入学前1年間 (入学前年度の4月1日～3月31日) 令和8年度対象者:令2.4.2～令3.4.1生	1回	1回			
水ぼうそう	1歳・2歳 標準的には1回目の接種は 1歳～1歳3か月未満	3か月以上(標準的には6～12か月)の間隔 をおいて2回	1回			
日本脳炎	第1期 初回 生後6か月 ～7歳6か月 未満	標準的には3歳～4歳未満	6日以上(標準的には6～28日)の間隔で2回			
	第1期 追加	標準的には4歳～5歳未満	初回(2回)終了後、6か月以上(標準的には おおむね1年)あけて1回			
	第2期 9歳 ～13歳未満	標準的には9歳～10歳未満	1回			
	※	平7(1995)年4月2日～平19年(2007)年 4月1日生まれの20歳未満の人	合計4回の接種が済んでいない場合、残りの 予防接種が受けられます。			
二種混合(DT)	11歳・12歳 標準的には11歳	1回(乳幼児期の四種混合(DPT-IPV)の 追加免疫)	新規対象者へは、 通知します			
ヒトパピローマ ウイルス感染症 (子宮頸がん等予防)	小学6年生～高校1年生相当年齢にある女子 令和8年度対象者:平22.4.2～平27.4.1生 (標準的には中学1年生)	合計3回 接種開始年齢により、接種間隔や接種回数 が異なりますので、接種医師にご確認ください。				

※長期療養を必要とする疾病にかかった等の理由により、定期接種の機会を逃した人は定期接種の対象となる場合がありますので、ご連絡ください。



任意予防接種

おたふくかぜワクチンの予防接種の一部補助を行っています。
補助を受けていただくには、接種前の申請が必要です。

オンライン申請もできます



接種種類	補助額	補助対象
おたふくかぜワクチン	1回あたり、上限3,000円(1児あたり、2回まで)	1歳～小学校1年生